

VOICE OF  
GRADUATES

卒業生の声



整体の奥義を体系的に学べる学校

身体均整法学園



## 学園講師 & 助講師として活躍

みやび均整指導院 院長 石川雅子さん



会社勤めの際、コロナ禍になりキャリアチェンジを考えたことがきっかけです。それまで勤めとは別に、合唱団で指導者・歌手として長年活動していたこともあり「身体」を改めて勉強してみたいと考えていたところ、偶然にも知り合いに身体均整師がおり、身体均整法と出会いました。

年齢、性別、仕事など、様々なバックグラウンドの方がいらして、和やかな雰囲気でした。私のように手技療法を学ぶのが初めての方、鍼灸師の方、プラスアルファの知識を習得して今後のキャリアに活かしたいという方など、自然と学習意欲も上がりました。骨の数も知らない状態からスタートしましたが、基礎的な理論から専門性を持った興味深い内容の講義で、講師の方へ直接質問できてありがたい環境でした。

今では、学園の「自他動操縦法」という講義の講師ならびに助講師として、受講生の方々をサポートする役割のお仕事をしています。私は、日本人女性の平均身長＆スポーツが苦手＆力が弱いので、受講生の時はダイナミックな手技の練習に大変苦労しました。身体の知識ゼロから勉強した自分だからこそ、受講生の方々の目線に立ち、小さい力でも大きな結果が出せることをお伝えできるよう心掛けています。

また、身体均整法の理論を、飼っている動物に応用したり、自身の身体のメンテナンスや、パフォーマンスアップにつなげられるように日々研究しています。



## 家族の為に入校しました

うるしやま均整院 院長 漆山清美さん



私は腰痛持ちで妻は変形性股関節症、2人の娘も身体の不調があり、近くの均整院に家族で通っていました。しかし、その均整院の先生が亡くなり、山形県でほかの均整院は見つかりませんでした。そうするうちに妻の変形性股関節症が悪化し、足を引き摺るようになり痛みで夜も眠れなくなりました。ネット検索で「身体均整法学園」がありましたので、藁にもすがる思いで入校しました。

私は全くの素人でしたが、基礎から少しずつステップアップしていきました。大事なことを繰り返していくカリキュラムなので、とても学び易かったと思います。そして、わからないことは助講師の先生にも聞きながら、クラスの仲間と楽しく有意義な学園生活を送ることができました。

更に、卒業生が研鑽を積む場である付属均整センターを学生の時に見学させていただき、今は均整センター員としてお世話になっております。そこでは多くのアドバイスをセンター員の皆さまにいただいておりますのでとても勉強になっております。

また、自宅でも開業し、少しずつお客さまがいらしています。

最後に妻の変形性股関節症ですが、今では階段を駆け上げられるくらいになりました。ご指導いただきました先生方に心から感謝致します。



## もう一度入学したいです

aru均整 院長 蔵河有希さん



卒業して早くも4年が経ちます。

入学前は別の整体学校や講習等で実技を学び、サロンや整体院などで活動していました。

そのうちイベントや出張などに出て、個人でお客さまを集め対応することが多くなり、もっとスキルアップしたいと考えていた時、身体均整法学園のことを知りました。

月2回の週末、広島から大阪までは遠かったですが、入学前にも支部会に参加させて頂いたり、先生方から身体均整法のことをたくさん教えて頂き、均整の実技や理論は知るほど楽しくてすぐに入学を決めました。

入学後も明るくて活気ある同期のメンバーにも恵まれ和気あいあいと学ぶ事が出来ました。

2日間の授業は内容も濃くあっという間に過ぎて学校に行くのが毎回とても楽しみでした。

もう一度入学したいです笑。

卒業後は開業し、学校で学んだ身体均整法を実務に活かしています。現在も、師会のセミナーや学校でお世話になった講師の先生方の講習会などに参加し、学びを深めています。

身体均整法は奥が深くまだまだ分からない事だらけです。大変なこともたくさんありますが入学式に当時の会長の矢作先生から言われた「続けていきましょう。なんとかなるからね」という言葉をいつも思い出して、手技療術者としての経験を日々重ねています。



## 理学療法士からの転身

ともき均整院 院長 小室知貴さん



私は理学療法士として病院に勤務していました。そこでの臨床で、なかなか効果的なりハビリができないことに悩み、理学療法士向けの様々なセミナーに参加してきました。2年間で50日以上セミナーに参加していたと思います。少しずつ技術や知識は身につけていきましたが、何か1つのことを学んで軸にしたいと考えていたところで、身体均整法に出会いました。

学園で学んだ技術を実践すると、普段は寝返りや起き上がりができない方が、すーっと楽に動けるようになったり、職場スタッフの身体の痛みを全く痛みと関係ない部位から即座に改善させたり、勤め先では小室マジックと崇められていました(笑) それと同時に理学療法士のセミナーで学んだ理論や技術は何だったんだろう……。初めから身体均整法の視点で身体と向き合えば良かったと思うこともありましたが(今ではその知識も生きています)。

卒業後は自律神経失調症や医療機関では解決できない身体の痛みでお悩みの方の手助けになれるように治療院を立ち上げています。貯金も少なかったため、理学療法士のアルバイトをしながらの経営でしたが、現在は徐々に経営が安定してきたので、治療院経営のみに移行している段階です。



## 会社員から身体均整師へと心に決めた

杉本身体均整院 院長 杉本精一さん



高校生の時代、学級担任の先生が「鍼灸師」である事から手技療法への興味が沸きました。

会社員時代を経て、知人の田川直樹先生が「身体均整師」であった事から話を伺い、身体均整学園の説明会に参加しました。実際の授業見学を経て、この先の人生で「身体均整師」をやろう！と心に決めたのが出会いでした。

身体均整法学園へ入学して同期の中には、整体師・柔道整復師・医療関係経験者などや年齢も違うクラスメイト達に影響されながら、初めは解らないながらも興味深い講義・実技を学びながら、毎回学園の授業が楽しくて最高でした！身体均整法を基に、人の身体の白地図を学べて2年間が凄い速さで過ぎてしまいました。

学園講師から、卒業時に頂いた言葉がとても好きです！

「皆さんは地図の見方を学びました。これからはそれを頼りに冒険者となり旅を続けてください！」

学園卒業後は開業のシミュレーションとして、身体均整師会附属「均整センター」へ通い、接客や施術の流れ等を学ばせて頂きました。

翌年に神奈川県・横須賀市にて開業、現在は埼玉県朝霞市と、2か所掛け持ちで日々営業しており充実の毎日です。



## 体が弱かった自分が地元で開業！

Lotus身体均整院 院長 瀧澤ユウさん



私は小さな頃から自分の体に自信がありませんでした。体が弱く、体力がなくて食欲もない。常に不調を抱えている状態。

均整の施術を受けて、180°世界が変わった感動は今でも覚えています。均整ってすごい！私もやりたい、学びたいと、入学しました。

ところが、入学早々パンデミック！初の緊急事態宣言で、入学式はZoom、はじめの2ヶ月は学園に通えない状態。画面上で先生が骨模型を触っているのを見ながら、この先どうなるのかと…。

でも、画面の向こう側の先生方はいつも熱い！Zoomに合わせた即興のカリキュラム変更など迅速な対応で、通えるようになってからも先生方の熱の入った講義で、コロナ禍を吹き飛ばす充実した学園生活が始まりました。消毒、検温、慣れないマスクでの実技練習…、でも通えるだけで嬉しくて、学べるって幸せだなと思いました。

初めての経験で手探りの中、先生方と受講生で協力して乗り切り、大変だったけれど楽しい思い出です。

在学中から準備を進め、卒業少し前に地元で開業しました。分からないときは先輩の先生方に教えて頂いたりしながら、おかげさまで定期的に通っていただけるお客様が増えました。現在、学園助講師を務めながら、学びの日々が続いています。



## 助産師 & 身体均整師として開業

Cache-cache coucou! 院長 真木智子さん



助産師として母乳育児支援を専門に働いていた中で、多くのお母さんが抱っこによる腱鞘炎や肩こり、産後の腰痛や骨盤の不安定さ等に悩んでいること、そしてそれら体の不調と母乳量や乳房トラブルに関係があることに気づきました。そこで、今の仕事に取り入れられる実践的な技術を学びたいと思い身体均整法学園に入学しました。

学園では、私のように仕事にプラスしたり、独立開業を目指す仲間と出会えて、一緒に刺激し合いながら和気藹々と勉強しました。

卒業した今でも、一緒に講習会に参加したり、練習したりと切磋琢磨しあえる良き仲間です。

卒業と同時に身体均整師&助産師として開業しました。母乳育児支援に身体均整法の技術を取り入れることに加えて、産後のお母さんや0ヶ月からの赤ちゃん達も施術をさせて頂けるようになり、身体均整法を選んで本当に良かったと思っています。卒業してすぐの開業で不安もありましたが、卒後も研修会が沢山あり、先輩均整師に相談できる機会も多いのでとても助かっています。

学び続ける必要のある仕事にやりがいを感じ、信頼して身体を預けてくださるお客様に誠実に向き合いながら、これからも技術を磨いていきたいと思っています。



## オイルトリートメントに取り入れる

Salon Wahou ~和芳~ 院長 南 和芳さん



元々アロマセラピストとして仕事をしていましたが、家族の病気がきっかけで感覚的な心地よさだけでなく、痛みや体が思うように動かないといった不調にも対応できるようになりたいと思いました。

入学する前からいくつか講座やセミナーなども受講していましたが、ほとんどが「こういう症状にはこのような施術」というものばかりでした。

そういったトラベル英会話的なものではなく、総合的な人間の体の仕組みや根本的な考え方を学びたいと思っていたので身体均整法学園を選びました。

学園では特に3原則の考え方や、個別の病名ではなくあらわれている不具合をどう解釈して対応するかという事に大きな学びがありました。

世の中には様々な治療法や技術が溢れていますが、学園で学んだことでどんな理屈を使っているのかがなんとなく想像がつくようになったので、怪しげな理論や治療法に惑わされなくなったのも自分の中では大きいです。

現状学んだことを全て使いこなせているわけではありませんが、もともとやっていたオイルトリートメントの中に均整的な施術を取り入れ、全身の調整や痛みなどの不具合に対応できるように取り組んでいます。

心地よさだけでなく、痛みの緩和や身体のバランスが改善して動かなかった部分が動くようになるのは、やはりうれしい事ですしやりがいを感じています。



## 動画配信サイトで出会った身体均整法

あすなる身体均整院 院長 山田龍平さん



始まりは旅行先で知り合ったオランダの方に「日本式の腰痛の治し方を教えて欲しい。」と頼まれた事でした。

その方はひどい腰痛持ちだったのです。動画配信サイトで整体の動画を検索して試してみたところ、劇的に効果があったのが身体均整法の手技でした。施術を受けた方はその効果に驚いていましたが、見よう見まねでやってみただけの私はもっと驚きました。

数日後から、施術を受けたオランダの方の紹介で腰痛に困っている外国人が私のところに訪ねてくるようになりました。言葉はあまり通じませんが、特に問題はありませんでした。これは面白い。もっと勉強したいと思うようになりました。

入学後は同じ志を持つクラスメートと共に、講師の先生方から基礎中の基礎から教えて頂いて、あっという間の濃密な一年となりました。

卒業後は毎月の支部勉強会に参加したり、近くに住む者同士で練習したりと技術や知識の向上を楽しみながら勉強を続けています。

現在は本業が別にあり、休日に予約を受け付けて均整の施術をしています。理解ある家族のお陰で来年からは均整を本業にします。取りづらい予約状況の中、通ってくださっていたお客様に恩返しできる事がとても嬉しく思います。



## 手技療術の世界はわかりにくかった

吉田整体 院長 吉田直美さん



手技療術の世界はわかりにくい。お客様からも「整体を受けたくてもどこを選べばよいのかわからなかった」と、しばしば耳にします。それは、学ぶ側にしても同じことです。もっと深く勉強したいけれど、何をすればよいのかわからない、そう悩んでいたころに出会ったのが身体均整法学園でした。

基本的な手技療術全般を網羅し、伝統を継いでいながらも、科学的な裏付けとの照合を精査しつつ20年30年40年と臨床を重ねている先生方が講師をされているので初学の人でも経験者も自分に合った学びができます。

クラスメイトは皆、仕事をしながらの学びなので、情報量の多さに戸惑いながらも協力しあって全員で卒業できました。

卒業後、東京都国分寺市で小さな施術所を営んでいますが、身を立てるのに足りる予約・来院数を継続できています。うれしいことに「先生の技術すごく良いから、もっと手広くやったら！」とまで言っていただけます。全部、学園で習ったこと、卒業後の講習会、勉強会で習ったことです。

手技療術の世界は有象無象も多く、一人で仕事をしていると迷うこともあります。身体均整法学園・身体均整師会の諸先輩方・同期・仲間たちが、手技療術家としての私のカウンターアクティビティになってくれていますので安心して仕事を続けていられます。





## 身体均整法学園

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 2-11-5 巣鴨第一ビル 5F  
TEL.03-5980-9714